

第4学年1組国語科学習指導案

平成17年10月28日(金)第5校時

1. 題材名 「一つの花」 (今西祐行 作)

2. 題材の目標

- ・場面や登場人物の様子を想像しながら読むことができる。(関心・意欲・態度)
- ・自分の考えを発表したり、友達と比べたりすることができる。(話す・聞く)
- ・自分の考えを手紙や日記形式で書くことができる。(書く)
- ・場面や登場人物の様子を大事な言葉に気をつけて想像しながら読むことができる。(読む)
- ・戦争に関わる言葉を知ったり、一つという言葉の意味を使い分けたりすることができる。(言語)

3. 題材について

この作品は、戦争に関わる文学作品としては、3年の「ちいちゃんのかげおくり」に続く2作目であり、高学年・中学校の社会科で歴史的事象としての戦争に出会う以前の、心情面で戦争の悲惨さを感じさせる文章である。戦争に行くとはどういうことなのか。ばんざいとはどんな時に使うのか。失ってはいけないものとは。十年後のコスモスの場面での作者の思いは何なのか。難しいことではあるが、「一つの花」という題名に込められた作者の思いを読みとることができる。「ちいちゃんのかげおくり」では、家族全員を、将来への夢や幸せをも、そして家の跡さえ、すべて消し去ってしまった戦争を学習した。「一つの花」では、戦争は終わったけれど、残された家族は、幸せなのか。児童にとっては、大きくて難しい問題を含んだ文章である。

家にいた時の父はゆみ子の「一つだけ」の言葉に対してめちやくちやに高い高いしていたが、出征で見送られる場面での「一つだけ」に対しては、コスモスで答える。そのコスモスが戦後、残された二人の貧しい生活を包み込んでいる。両親の子ども時代には、甘いおかしも食べ物もあったのに、いつ終わるかもしれない戦争によって、幼いゆみ子に辛い思いをさせ、戦後も父の戦死によって貧しい生活を強いられている。母親にとって、元気に明るく成長するゆみ子は生きる力であり、コスモスは心のよりどころであるようにさえ感じられる。

4. 児童について

31名(男子14・女子17)。国語の学習では、音読、課題解決が好きである。前単元の物語「三つのお願い」「白いぼうし」「いろはにほへと」のどれも全員音読を楽しみ、心に残っている

しかし、授業を振り返ると、自分の考えを発表する時の一人ひとりの声は、小さく、自主的な発表も少ない。一斉授業では、グループでの話し合いや発表会をしたり、グループで話しあったことを代表で発表させたり、書いた文を指導した上で発表会を開いたりして、全員が発表する機会を取り入れてきたが、恥ずかしがる児童が多い。その原因として、自分の考えた内容や書いた内容が短かったり、どうまとめてよいか分からなかったりして、深く考えられず自分でも満足はいくまとめ方ができないのだと思われる。また、「これでいいのか」とすぐ聞きにくる自信がない児童の様子から、正解を求めてそれに対応しようとする姿勢が多いように見られる。

5. 指導について

このような難しい文章の指導では、問題意識を持たせることが大事と考えた。戦争中、戦後、さ

らに戦前にまでさかのぼって考えさせようとするのであるから，不思議に思ったこと、分からないことがたくさん出てくると予想される。そこで，互いに感想を聞き合い，分類しながら、主題に迫る学習課題に導き，考えさせたいと思う。

グループ活動や作業には，男女仲よく取り組むことができることから，グループ活動を基本において，一人調べとグループ調べで発表会をくり返しながら，学びあいの学習を進めていきたい。「一つだけ」や「コスモス」などのキーワードを手がかりにして，戦争の状況，行動の表現から想像し，登場人物の心情を手紙で表現させたい。

6．指導計画 （全10時間 本時 7/10 ）

時	学習内容	ねらい	関	話	書	読	言	評価規準
1	題名読み	題名から内容を予想することができる。						すすんで感想を文に書いたり，発言したりする。
2	初発の感想 学習課題 学習計画	友達の感想と比べながら聞くことができる。 学習課題をつかむことができる 学習計画を立て，見通しをもつことができる。						
3 4 5 6 7 本時	戦時中の暮らしと父母の気持ちを表す表現 一つという言葉の意味 戦争中と戦後の場面の比較 音読	戦時下の厳しい生活状況を表す叙述を手がかりにし，ゆみ子への両親の気持ちを読み取ることができる。 ・かわいそうなゆみ子 ・大きくなってどんな子に育つだろう。 ・一つだけのお花、大事にするんだようー 人物の心情や場面の様子がよく分かるように声に出して音読できる。						人物の言葉や戦争中の様子を書いている。 感想を書いたり，発表したりしている。 大事な言葉を見つける。 一つという言葉の意味の違いを読み取っている。 気持ちを込めた音読をしている。
8	作者の思い 題名の意味	作者の願いを手紙で表す。						自分の考えを書いたり発表したりしている。
9 10	音読の工夫 音読発表会	全体を通して気持ちをこめて音読することができる。 他のグループの音読の工夫しているところを見つけて伝え合うことができる。						グループで工夫して音読している。 他のグループの音読を聞いて感想を持つ。

7. 本時の目標

戦後の場面を戦争中と比べながら読みとり，ゆみ子の気持ちになって，貧しい中でも必死でがんばっているお母さんへ手紙を書くことができる。

8. 準備物 挿絵 短冊

9. 本時の学習課程

学 習 内 容	支援（・）と評価（ ）
<p>本時の学習内容を確認する。 最後の場面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>戦争が終わり，二人は今，しあわせですか。</p> </div> <p>前時までのかわいそうなゆみ子と父の戦死をふりかえる。</p> <p>戦後の場面と今までの場面との違いをグループで思いだし，発表する。 他のグループに質問する。 みんなと比べて分かったことを発表する。</p> <p>周りの状況，ゆみ子の様子から本時の課題について話しあう。</p> <p>「父がいないのになぜ，明るく生きられるのか。母の仕事はどんな仕事か。なぜ手伝いをしないといけないのか。」</p> <p>自分の考えをまとめる。</p> <p>本時のまとめをする。 ゆみ子から母へ手紙を書く。</p> <p>次時は，作者の思いを考えることを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本の様子を表す表現から離れないようにする。 ・短冊を用意しておき，書かせてから，代表に発表させる。 ・教師も質問する。 整理して書くことができたか。 食べ物・父・母の仕事・コスモス ・一人ひとりの考えを持たせてから，理由を発表させる。 ・質問や反対意見を求める。 ・ノートに文章化する。 母がゆみ子の幸せを願ってがんばっていることに関する内容が書けているか。